



社会的役割に相応しい待遇をめざして 建交労全国トラック部会総会を開催！

建交労中央春闘討論集会が閉会した11月25日の14時～26日の午前中にかけて建交労全国トラック部会第20回総会が伊豆長岡の「おとり荘」で開催されました。議長に選出された遠藤副部会長が進行し、足立部会長から「改善基準告示の抜本改正・法制化を目指し引き続き奮闘する」と力強い挨拶がされたあとに、中央本部角田委員長からは「中越地震のときに現地から『水を貯めるタンクがなくて困っている』と連絡を受け、近物の遠藤さんに頼んだら次の日には被災地にタンクが届けられ、迅速な対応をしてくれました」とトラックの必要性和流通の基幹産業とい



発言する佐藤章委員長



三昭運輸の発言をする清野副委員長

について発言、つづいて三昭運輸分会の清野分会長は県労委でのたたかい及び早期救済命令を求める団体・個人署名のお願いと悪質な社労士を排除する運動の報告をして討論に参加しました。

全体討論の終了後に鈴木事務局長が討論のまとめを行い、そのご採択をおこなって全ての提案が満場一致で採択されました。



総会で選出された幹事会メンバー

うことを改めて強調する挨拶がありました。

鈴木事務局長からは「2018年度及び2019年度活動方針」と「2017年度経過報告」の提案がされました。

全体で40名が参加した総会の討論では特別発言も含めて2日間で19名のなかまから発言がありました。

県南支部の佐藤章委員長は支部の運動と組織建設に



総会宣言を提案する支部の大島書記長

最後に足立部会長のがんばろ三唱で終わりました。神奈川県南支部の大島書記長は引き続き幹事に選出されました。なお、総会の進行役を務めた近物レックス支部選出の遠藤伸副部会長は今季をもって退任されました。(以上は神奈川県南支部の清野純平副委員長から送られてきた記事です)